

30-1 教育研究評議会議事概要

日時 平成30年4月18日(水) 13:30~14:50
場所 事務局棟2階会議室
出席者 駒田学長
山本, 鶴岡, 尾西, 加納, 尾藤, 富樫, 野崎, 橋本, 西村, 松田, 堀, 吉本,
伊藤(正), 安食, 樹神, 鶴原, 藤田, 片山, 緒方, 畑中, 伊藤(智), 梅川,
神原, 三宅, 綾野
欠席者 竹井
陪席者 服部監事

◎ 前回議事概要の確認

学長から事前に照会した29-15教育研究評議会議事概要(案)について、資料のとおり記録に留めたい旨の報告があり、了承された。

◎ 新規構成委員等の挨拶

冒頭、新規構成員及び4月に着任した地域人材教育開発機構教員から挨拶があった。

I 審議事項

1. 地域人材教育開発機構規程の改正について

学務部長から、「資料：審-1」に基づき、平成30年度国立大学法人機能強化促進費により、インターンシップ教育を担当する教員の人件費の措置が可能となったことに伴い、機構内に新たに当該事業を担当する部門を開設するため、規程の一部改正を行う旨の説明があり、審議の結果、原案どおり承認された。

◇主な意見

○学内組織の拡大に伴い、機構や部門が増え、理事ではない副学長も増えている。機構の部門によっては兼務教員を配置することとなり、全学委員会と同様、部局は当該兼務教員を選出しなければならない。一方、部局の人件費相当教員数は減少し続けているという状況であり、このままでは立ち行かなくなることから、理事ではない副学長にも兼務教員を担当できるようにしていただきたい。規定上は、理事ではない副学長は部局所属の教授であるため、機構等の部門の教員を兼務することは問題ないとする。

→問題がなければそのようにしてよい。

2. 名誉教授称号授与について

企画総務部長から、「資料：審-2」に基づき、各学部・研究科長から推薦のあった16名について説明があり、審議の結果、全員一致によって名誉教授称号を授与することが承認された。なお、各評議員に事前配付された資料は、本会議終了後、個人情報保護の関係から回収した。また、称号授与式は6月26日に予定している旨の連絡があった。

3. その他

なし

II 役員会報告

1. 平成29年度第34～平成30年度第2回役員会について

企画総務部総務課長から、平成29年度第34回～平成30年度第2回役員会について、「資料：役-1、参考資料1～4」に基づき、報告があった。

Ⅲ.その他報告事項

1. 平成29年度業務執行状況（第4四半期）について

各理事・副学長から、「資料：報-1-1, 1-2」に基づき、平成29年度業務執行状況（第4四半期）について、「主な取組・成果」「課題・対応方針」「中期計画の数値目標に係る実績」を中心とした報告があった。

2. COC+に係る報告

富樫副学長から、「資料：報-2, 席上配布資料」に基づき、平成29年度第9回地域創発部門会議、平成29年度第2回COC+事業推進会議、平成29年度第2回「高等教育コンソーシアムみえ」総会における協議事項等についての報告があった。

3. 三重大学におけるインターンシップの取組強化について（第4四半期報告）

野崎副学長から「資料：報-3」に基づき、三重大学におけるインターンシップの取組強化の第4四半期報告及び今後の課題として、インターンシップ取組強化に関する検討プロジェクトチーム第10回会合での検討内容についての説明があった。

4. 平成31年度学術システム研究センター新規研究員候補者の推薦について

鶴岡理事から、「資料：報-4」に基づき、日本学術振興会が募集を行っている平成31年度学術システム研究センター新規研究員候補者の推薦についての説明があり、適任者を推薦願う旨の依頼があった。

5. 学生支援サミット2018について

野崎副学長から、「資料：報-5」に基づき、学生総合支援センターが主催する学生支援サミット2018についての説明があった。

また、教員については、例年参加者が少ないため、5学部から各2名ずつ参加いただくよう依頼があった。

6. その他

(1) 2017年度教養教育シンポジウム報告書について（席上配付資料）

綾野教養教育院長から、「席上配付資料」により、2017年度教養教育シンポジウム報告書「教養教育のアクティブ・ラーニングの改善とさらなる拡大に向けて」についての紹介があった。

(2) 次回開催日時について

学長から、次回の教育研究評議会は5月17日（木）13：30から開催する旨の報告があった。

以上